

大会宣言(案)

本日、私たちは第35回定期大会を開催しました。組織拡大3カ年計画の2年目である昨年度は、パートや臨時など非正規労働者の組合加入が本格的に始まりました。この一年間に新たに10組合が結成され、7単産が純増となりました。組織拡大こそ最大の要求実現闘争です。今年も10万人愛労連をめざして全ての単産が組織拡大に全力をあげ3カ年計画の目標を総達成しましょう。

組合員のみなさん

小泉内閣は「規制緩和」「構造改革」により大企業に史上空前の利益を提供する一方で、格差の拡大と貧困化をもたらしました。あいつぐ社会保障改悪、増税、三位一体改革による財政削減で地域が切り捨てられ、国民には痛みの連続です。行き過ぎた「規制緩和」は大事故・事件を引き起こし、国民のいのちと暮らしを脅かしています。

そのうえ自民党は9条2項を削除する新憲法草案を発表し、政府は先の国会に改憲手続きのための法案を提出しました。また「戦争をする人づくり」のために教育基本法に「愛国心」を持ち込む「改正」案も提出されました。民主党もまた「愛国心」を盛り込んだ案をだしており、予断を許さない状況となっています。この夏は地域に運動をひろげ、続く“熱い秋”のたたかいで必ず廃案に追い込みましょう。

組合員のみなさん

改憲に反対する「九条の会」は燎原の火のように全国に広がり、全国で5200、愛知でも300にせまる「会」がつけられています。米軍基地再編に反対するたたかいは自治体を巻き込んで全国に広がりました。地域医療を守るたたかいは住民との共同で大きな力を発揮してきました。当初否定していた政府も経済格差の拡大を認めざるを得なくなり、マスコミも小泉政治が格差を拡大したこと指摘しています。職場から地域に出て住民とともに「安全安心な公共サービスを守る」たたかいを大きく広げましょう。

突如行われた北朝鮮のミサイル発射が連日テレビで報道され、不安が広がっています。これを口実に軍備拡大をねらう人たちもいます。しかし中東をみてもひとたび戦争が始まれば、被害をうけるのは罪のない国民です。「敵基地攻撃能力の強化」で戦争を止めることはできません。いまこそ「戦争をしない政治」が求められています。来年には知事選、一斉地方選、参院選挙が行われます。労働者の要求を第一に、いのちと暮らし、平和をまもる政治への転換をもとめたたたかいをすすめましょう。

まともな賃金と働くルールの確立、安心してくらす社会をめざしてこの一年を全力でたたかきましょう。

以上決議する。

2006年7月23日
愛知県労働組合総連合
第35回定期大会